

北陸新幹線関連公共施設等整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	地域戦略部	課名	新幹線建設推進課		課長名	三島 梨加
事業主体	市町				事務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区 分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H26 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助			経過年数						8 年		
補助率	1/2～3/5以内											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀間の令和6年春の確実な開業に向けて、新幹線沿線集落からの理解と協力を得て、工事を円滑に進捗させる必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 【工事の進捗状況】 土木工事から設備工事への引渡し：37工区／39工区（R4. 2時点）						
[事業目的] 新幹線沿線集落の理解を促進するため、鉄道・運輸機構の機能補償工事や国・県の既存補助事業で対応できない地元要望に対し、市町が行う地元支援事業へ県が補助することにより、円滑な工事進捗を図る。												
[事業内容] (1) 補助対象事業および補助率 市町別の「新幹線関連公共施設等整備計画」に位置付け、かつ、県が採択した事業 ①道路、河川、公園施設、用排水施設等の整備・・・1/2以内 ②集会施設の整備・・・1/2以内 ③分断された不整形農地の整備・・・3/5以内 (2) 補助対象範囲 新幹線沿線 89集落 (3) 事業実施期間 平成26年度～令和6年度（新幹線開業の1年後） ただし、各集落の用地取得率が概ね50%以上となった日以降から着手												
[受益者] 県民全体						[想定される受益者数] 77万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	市町が沿線集落から提出されている各種要望の調整を行い、鉄道・運輸機構の機能補償工事や既存補助事業では対応できない市町が行う地元支援事業に対して、県が支援する。					他県の状況		長野県 H4年度制度創設 補助金額23.4億円(延長116.2km) 石川県 H11年度制度創設 補助金額14.8億円(延長31.6km) 富山県 H12年度制度創設 補助金額 8.6億円(延長90.2km)				

北陸新幹線関連公共施設等整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	地域戦略部	課名	新幹線建設推進課	課長名	三島 梨加	
事業主体	市町				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H26 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1 / 2 ~ 3 / 5 以内											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	199,968				199,968							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	250,000	306,000	198,843	240,370	199,968	事業費の減に伴う県補助額の縮減						
2月現計予算額の推移	220,307	250,319	194,486	199,448								
決算額の推移	207,800	246,482										
前年度までの 主な増減理由	各年度の市町からの申請額によって増減する。											
[成果指標等の推移]												
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	用地取得率 (目標) (100) 実績 98	(100) 99	(100) 100	(100) 100	(100) 100	(100) 100	(100) 100	取得確実な用地を含む率				
活動指標	沿線市町が行う地元支援への補助 (目標) 実績							市町と連携・協力して迅速かつ円滑に沿線集落の要望に対応することが目標であり、活動指標を数値で表すことができない。				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
用地取得率 100%								<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	40,402	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

北陸新幹線福井駅（東口）拡張施設整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	地域戦略部	課名	新幹線建設推進課		課長名	三島 梨加
事業主体	福井市				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助											
補助率	国庫補助(50%)を除いた額について県1/2、市1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]	関連する県の計画等		[]								
[解決すべき問題・課題] 新幹線福井駅については、平成29年5月の与党検討委員会において、ホーム開口部や改札の増設等を決定し、駅利用者の利便性策が確保されることとなったが、駅利用者の待合スペースや観光案内所が確保できない。						[問題・課題を表す客観的データ] (金沢駅) (福井駅) + (拡張施設) 【待合スペース】 280㎡ 110㎡ + 151㎡ = 261㎡ 【観光案内所】 200㎡ 0㎡ + 200㎡ = 200㎡						
[事業目的] 福井駅を県全域の観光案内所などを備えた県都の駅にふさわしい、ゆとりある駅とするため、福井市による駅東口の拡張施設の整備に対し支援する。												
[事業内容] (1) 事業主体 福井市 (2) 事業内容 拡張施設の整備に対する補助 (3) 事業期間 平成29年度～令和4年度 (4) 事業費 全体事業費 1,339,706千円 基本設計 12,960千円(県50%、市50%) 実施設計 51,633千円(国50%、県25%、市25%) 埋文調査・支障移設 49,036千円(") 施設整備費 1,226,077千円(") (5) 施設規模 鉄骨造2階建て 延床面積 約1,631㎡(1階 約1,074㎡、2階 約537㎡、屋上(EV) 約20㎡) (6) 令和4年度の実施内容 本体工事												
[受益者] 福井駅利用者						[想定される受益者数] 15万人/年						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況		福井市と県が協議しながら施設レイアウトや規模等を決定				他県の状況		長野県飯山駅で新幹線駅舎と併設して観光交流センターを整備 事業主体：飯山市 事業期間：H22～H26 延床面積：1,003㎡(横幅70m、奥行10m、高さ14m) 施設構造：鉄骨造2階建て 事業費：748,000千円				

北陸新幹線福井駅（東口）拡張施設整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	地域戦略部	課名	新幹線建設推進課	課長名	三島 梨加		
事業主体	福井市				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			<input type="checkbox"/> その他				
補助率	国庫補助(50%)を除いた額について県1/2、市1/2												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	183,912				183,912								
[予算額の推移等]												(単位：千円)	
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		17,750		25,583	122,608	183,912							
2月現計予算額の推移		13,750		12,259	122,608								
決算額の推移		12,907											
前年度までの 主な増減理由		各年度の福井市の事業実施内容によって増減する。											
[成果指標等の推移]													
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	施設完成後の年間利用者数 (万人)						(15)	(15)	年間15万人(市の都市再生整備計画の目標値) 効果発現は北陸新幹線敦賀開業(令和5年度末)以降となる。				
活動指標	—								拡張施設を整備することが目標であり、指標を設定できない。				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
令和3年9月：本体工事に着手。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

敦賀駅ムービングウォーク整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	地域戦略部	課名	新幹線建設推進課	課長名	三島 梨加	
事業主体	福井県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	負担金											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 敦賀駅における乗換え利便性の確保(平成29年5月、与党福井駅先行開業等検討委員会が、敦賀駅の連絡通路にムービングウォークを設置することを決定)						[問題・課題を表す客観的データ] ・敦賀駅乗降客数7,178人(平成29年度) ※乗降客数は乗車人員×2で算出						
[事業目的] 敦賀開業後、敦賀駅西口から新幹線に乗車する利用者や新幹線と在来線を乗り継ぐ利用者の移動の円滑化と負担軽減を図るため、連絡通路にムービングウォークを整備する。												
[事業内容] (1) 事業主体 福井県 (2) 事業内容 ムービングウォークの整備 (3) 事業期間 令和2年度～令和5年度 (4) 全体事業費 95,000千円												
[受益者] 敦賀駅利用者						[想定される受益者数] 2.7千人/日						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	敦賀市がムービングウォークの電源を確保し、県がムービングウォーク本体を整備(鉄道・運輸機構が施工)する。					他県の状況						

敦賀駅ムービングウォーク整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	地域戦略部	課名	新幹線建設推進課	課長名	三島 梨加		
事業主体	福井県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	負担金								<input type="checkbox"/> 補助金		R2 年度 経過年数		
補助率									<input checked="" type="checkbox"/> その他		2 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	2,800				2,800								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移			215,000	3,606	2,800	年度実施計画による減							
2月現計予算額の推移			3,986	1,349									
決算額の推移			3,966										
前年度までの 主な増減理由	事業受託者である鉄道・運輸機構の年度実施計画により、負担額が変動する。												
[成果指標等の推移]													
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	ムービングウォークの 利用者数	(目標) 実績				(100万人)	(100万人)	年間100万人 効果発現は北陸新幹線敦賀開業(令和5年度末)以降となる。					
活動指標	ムービングウォークの 設置数	(目標) 実績				(2台)	(2台)	新幹線駅と在来線駅双方向間の旅客移動のため2台設置する。					
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価			実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
デッキ、踏板等の工場製作を実施							<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
							<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	806			
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				